

アンケート結果（詳細）

令和7年6月6日（金）から6月23日（月）まで、「子どもたちの笑顔あふれる教育環境に向けた保護者・教職員・市民アンケート」を実施しました。アンケート結果のうち、基本方針（修正たたき台②）への反映について、御意見をいただきたい内容を、以下にまとめています。

1 クロス集計の実施

（1）結果の取り扱い

この資料における集計結果は参考資料として取り扱います。また、「学校規模」と「地域性」の観点から集計するうえでは、次のとおり設定しました。

（2）学校規模

令和7年5月1日時点の学級数を基に、学校教育法施行規則第41条を参考として、11学級未満を「小規模校」、12学級以上18学級以下を「国標準校」、19学級以上を「大規模校」と定義して集計しました。

なお、中学校は小学校と同様、11学級未満を「小規模校」、12学級以上18学級以下を「国標準校」と定義しますが、19学級以上の学校はありませんでした。

【参考：学校教育法施行規則 第41条】

小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

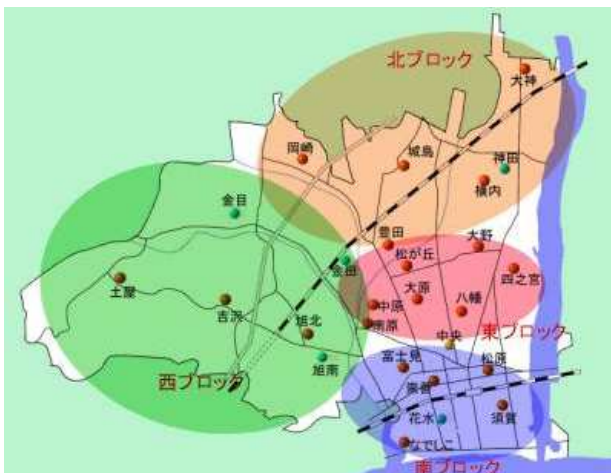
【参考：学校教育法施行規則 第79条】

第41条から第49条まで、第50条第2項、第54条から第68条までの規定は、中学校に準用する。
（後略）

（3）地区ブロック

地域性を分析する際に、本市の地区公民館のブロックを参考に、各小学校・中学校を4つのブロック（東西南北）に振り分けて集計しました。

【公民館一覧】



出典：平塚市ホームページ

「公民館一覧」ページから

(4) 各小学校・中学校の区分一覧

学校名	学級数	区分	地区ブロック
崇善小学校	21	大規模校	南ブロック
港小学校	18	国標準校	南ブロック
松原小学校	11	小規模校	南ブロック
富士見小学校	21	大規模校	南ブロック
花水小学校	28	大規模校	南ブロック
旭小学校	17	国標準校	西ブロック
大野小学校	19	大規模校	東ブロック
中原小学校	14	国標準校	東ブロック
豊田小学校	9	小規模校	北ブロック
神田小学校	13	国標準校	北ブロック
城島小学校	6	小規模校	北ブロック
岡崎小学校	13	国標準校	北ブロック
金田小学校	15	国標準校	西ブロック
土屋小学校	6	小規模校	西ブロック
吉沢小学校	11	小規模校	西ブロック
金目小学校	11	小規模校	西ブロック
横内小学校	11	小規模校	北ブロック
八幡小学校	14	国標準校	東ブロック
南原小学校	8	小規模校	東ブロック
真土小学校	18	国標準校	東ブロック
松が丘小学校	12	国標準校	東ブロック
相模小学校	7	小規模校	北ブロック
なでしこ小学校	12	国標準校	南ブロック
勝原小学校	12	国標準校	西ブロック
松延小学校	15	国標準校	西ブロック
みずほ小学校	26	大規模校	西ブロック
山下小学校	17	国標準校	西ブロック
大原小学校	6	小規模校	東ブロック

学校名	学級数	区分	地区ブロック
江陽中学校	14	国標準校	南ブロック
太洋中学校	9	小規模校	南ブロック
春日野中学校	9	小規模校	南ブロック
浜岳中学校	18	国標準校	南ブロック
大野中学校	14	国標準校	東ブロック
神田中学校	10	小規模校	北ブロック
土沢中学校	6	小規模校	西ブロック
金旭中学校	15	国標準校	西ブロック
中原中学校	11	小規模校	東ブロック
大住中学校	9	小規模校	北ブロック
山城中学校	12	国標準校	西ブロック
神明中学校	12	国標準校	東ブロック
金目中学校	13	国標準校	北ブロック
横内中学校	6	小規模校	北ブロック
旭陵中学校	9	小規模校	西ブロック

2 P17 第3章「2 望ましい学級数」

小学校における1校当たりの望ましい学級数（事務局案）

1 2学級～2 4学級程度（1 学年当たり2～4 学級程度）

- ・現在の学年の状況について、小規模校では「少ない」、国標準校・大規模校では「程よい」が最も回答された。（1 学級では少ないと判断）
- ・理想の学級数について、保護者は「2～5 学級」、教職員は「2～4 学級」と回答された。
- ・大規模校の現状は「3～5 学級」で、保護者の65.1%が「程よい」と回答した一方、28.1%が「多い」と回答している。（5 学級では多いと判断）

⇒国が示す標準学級数は「12～18 学級（各学年2～3 学級）」だが、現状19 学級を超える小学校が5校あり、大規模校の保護者のうち3割弱が、現状の児童数が多いと回答していることから、「12～24 学級程度（各学年2～4 学級程度）」を事務局案とした。

区分	現状【保 問 6】※	状況【保 問 6-1】	理想【保 問 7】※	理想【教 問 3】※
小規模校	1～2 学級：97.4%	<u>少ない</u> ：66.2% <u>程よい</u> ：32.9%	2～4 学級：97.4%	2～3 学級：92.5%
国標準校	2～3 学級：99.2%	<u>少ない</u> ：32.3% <u>程よい</u> ：66.7%	2～4 学級：97.2%	2～3 学級：92.8%
大規模校	3～5 学級：99.8%	<u>程よい</u> ：65.1% <u>多い</u> ：28.1%	3～5 学級：98.6%	2～4 学級：97.8%

※現状及び理想の学級数については、回答割合が10%以上の選択肢を合計

中学校における1校当たりの望ましい学級数（事務局案）

9 学級～1 8 学級程度（1 学年当たり3～6 学級程度）

- ・現在の学年の状況について、小規模校では「少ない」、国標準校では「程よい」が最も回答された。（2 学級では少ないと判断）
- ・理想の学級数について、保護者・教職員共に「3～5 学級」と回答された。

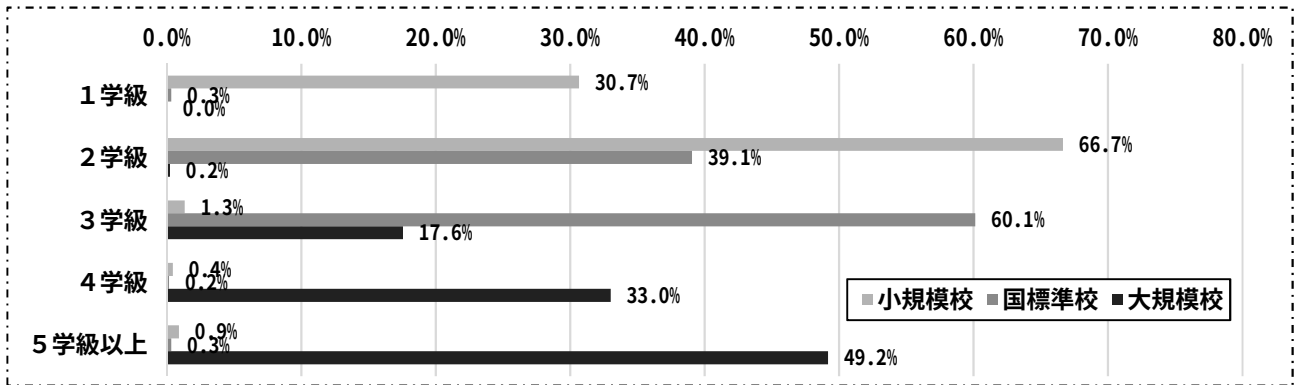
⇒国が示す標準学級数は「12～18 学級（各学年4～6 学級）」だが、現状12 学級を下回る学校が半数近く、かつ、18 学級の中学校があることから、「9～18 学級程度（各学年3～6 学級程度）」を事務局案とした。

区分	現状【保 問 6】※	状況【保 問 6-1】	理想【保 問 7】※	理想【教 問 3】※
小規模校	2～4 学級：98.9%	<u>少ない</u> ：68.6% <u>程よい</u> ：30.3%	3～5 学級：95.2%	3～4 学級：88.5%
国標準校	4～5 学級：96.1%	<u>程よい</u> ：77.2% <u>多い</u> ：13.6%	4～5 学級：90.8%	3～5 学級：95.4%

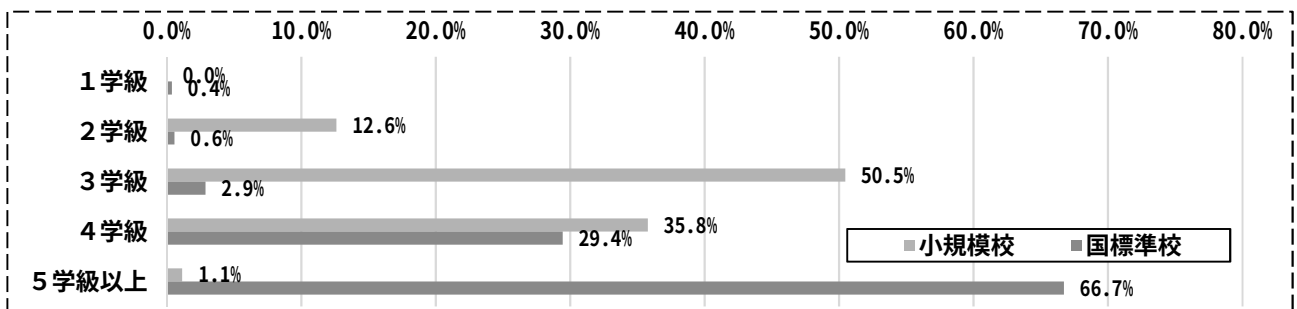
※現状及び理想の学級数については、回答割合が10%以上の選択肢を合計

(1) お子様が所属する学年の学級数は？（1つ選択）

【保護者アンケート問6】＜学校規模別（小学校）＞

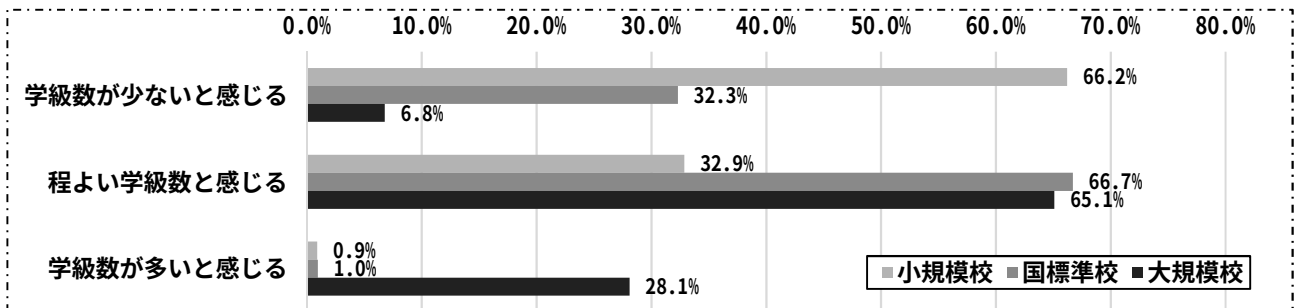


【保護者アンケート問6】＜学校規模別（中学校）＞

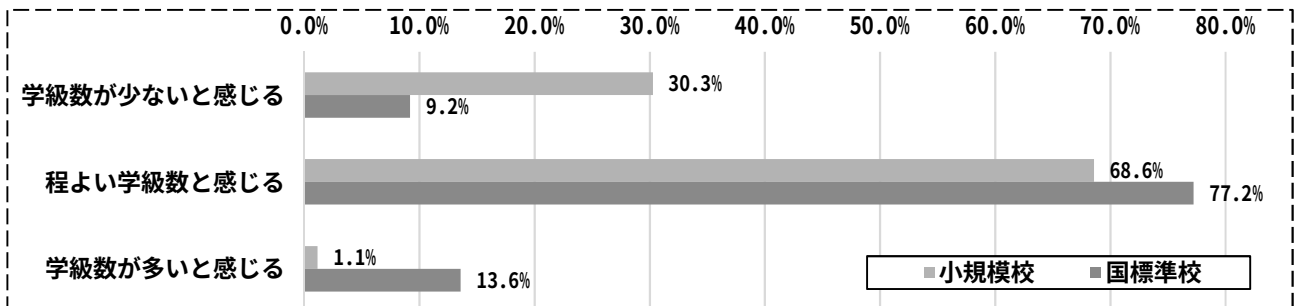


(2) 現在の学年の状況について、当てはまるものは？（1つ選択）

【保護者アンケート問6-1】＜学校規模別（小学校）＞

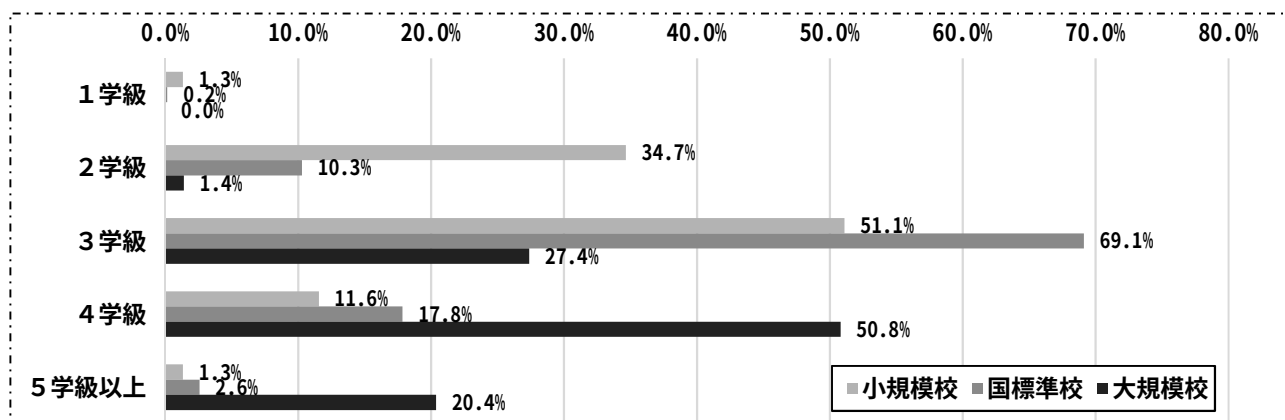


【保護者アンケート問6-1】＜学校規模別（中学校）＞

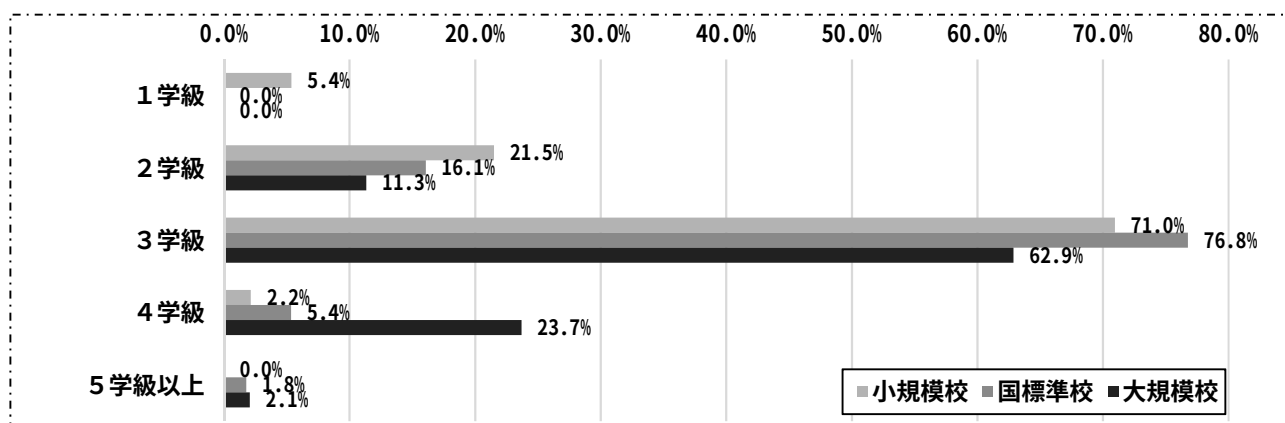


(3) 1学年当たりの理想の学級数は？（1つ選択）

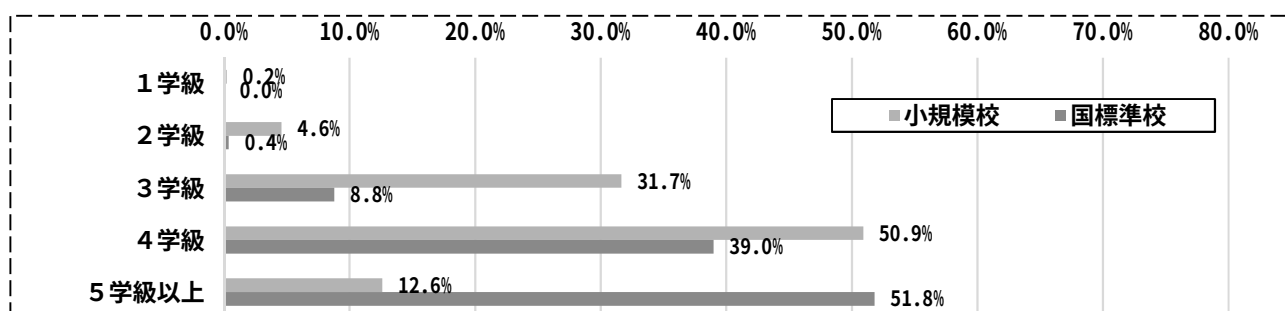
【保護者アンケート問7】＜学校規模別（小学校）＞



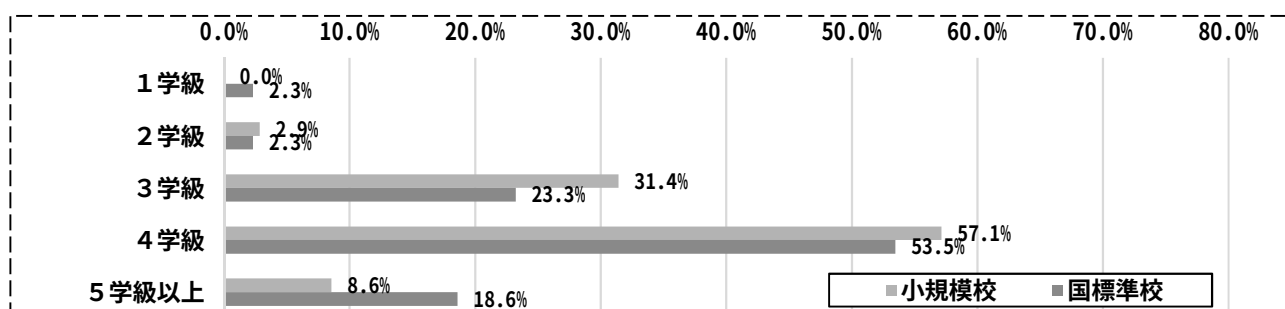
【教職員アンケート問3】＜学校規模別（小学校）＞



【保護者アンケート問7】＜学校規模別（中学校）＞



【教職員アンケート問3】＜学校規模別（中学校）＞



3 P18 第3章「3 望ましい通学時間・距離の範囲」

小学校における望ましい通学時間・距離の範囲（事務局案）

おおむね2km・30分以内

- ・通学時間の状況について、全てのブロックで「15分未満」が最も回答されており、各ブロックで「30分未満（15分未満と15分以上30分未満の合計）」の回答が95%を超えた。
- ・通学手段について、ほとんどが「徒歩」と回答された。
- ・通学時間（片道）の可能な範囲について、「30分未満」の回答が96%を超えた。

⇒国が示す基準は4km以内（徒歩換算で60分）だが、現状及び可能範囲に関するアンケート結果では95%以上が2km（徒歩換算30分）となったことから、「おおむね2km・30分以内」を事務局案とした。

区分	現状【保 11】※	手段【保 問 12】	可能【保 問 13】※	可能【教 問 5】※
南ブロック	～15分：72.2% 15～30分：25.8%	徒歩：98.7%	～15分：49.9% 15～30分：47.8%	～15分：21.4% 15～30分：75.7%
東ブロック	～15分：75.6% 15～30分：22.6%	徒歩：99.0%	～15分：51.9% 15～30分：47.4%	～15分：23.5% 15～30分：69.1%
北ブロック	～15分：52.1% 15～30分：45.9%	徒歩：98.6%	～15分：28.8% 15～30分：68.5%	～15分：23.0% 15～30分：73.0%
西ブロック	～15分：58.0% 15～30分：37.4%	徒歩：99.5%	～15分：40.4% 15～30分：56.0%	～15分：23.9% 15～30分：70.8%

※「不動産の表示に関する公正競争規約及び施行規則」で定める『徒歩による所要時間は、道路距離80メートルにつき1分間を要する』（1km12分30秒）を参考に、児童・生徒数の徒歩速度を考慮し、1km=15分程度としています。

【参考：義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令 第4条】

（適正な学校規模の条件）

- 二 通学距離が、小学校にあつてはおおむね4キロメートル以内、中学校及び義務教育学校にあつてはおおむね6キロメートル以内であること。

中学校における望ましい通学時間・距離の範囲（事務局案）

おおむね3km・45分以内

- ・通学時間の状況について、南ブロックでは「15分未満」、その他のブロックでは、「15分以上30分未満」が最も回答されており、各ブロックで「45分未満（15分未満、15分以上30分未満と30分以上45分未満の合計）」の回答が95%を超えた。
- ・通学手段について、全ブロックで「徒歩」が最も回答されたが、西ブロックでは「自転車」の回答が27.3%となった。
- ・通学時間（片道）の可能な範囲について、「45分未満」の回答が92%を超えた。

⇒国が示す基準は6km以内（徒歩換算で90分）だが、現状及び可能範囲に関するアンケート結果では多くの回答が3km（徒歩換算45分）となったことから、「おおむね3km・45分以内」を事務局案とした。

区分	現状【保 11】※	手段【保 問 12】	可能【保 問 13】※	可能【教 問 5】※
南ブロック	<u>～15分：67.2%</u> 15～30分：28.2%	徒歩：96.0%	～15分：37.3% <u>15～30分：56.7%</u>	～15分：11.4% <u>15～30分：68.2%</u> 30～45分：20.5%
東ブロック	～15分：37.5% <u>15～30分：51.3%</u> 30～45分：11.3%	徒歩：97.8%	～15分：24.0% <u>15～30分：69.1%</u>	～15分：11.5% <u>15～30分：73.1%</u> 30～45分：15.4%
北ブロック	～15分：28.4% <u>15～30分：50.0%</u> 30～45分：18.6%	徒歩：96.4%	～15分：15.5% <u>15～30分：70.6%</u> 30～45分：12.9%	<u>15～30分：78.7%</u> 30～45分：17.0%
西ブロック	～15分：33.1% <u>15～30分：51.8%</u> 30～45分：15.1%	徒歩：70.5% 自転車：27.3%	～15分：20.9% <u>15～30分：72.7%</u>	～15分：15.4% <u>15～30分：76.9%</u>

※「不動産の表示に関する公正競争規約及び施行規則」で定める『徒歩による所要時間は、道路距離80メートルにつき1分間を要する』（1km12分30秒）を参考に、児童・生徒数の徒歩速度を考慮し、1km=15分程度としています。

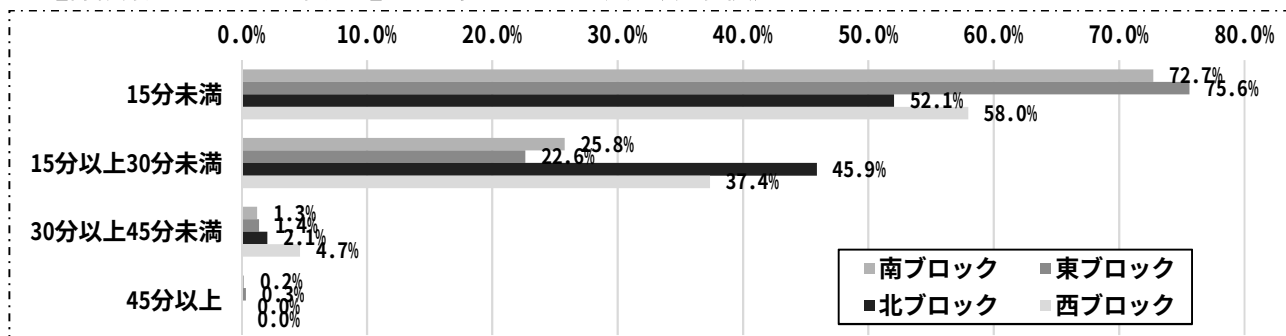
【参考：義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令 第4条】

（適正な学校規模の条件）

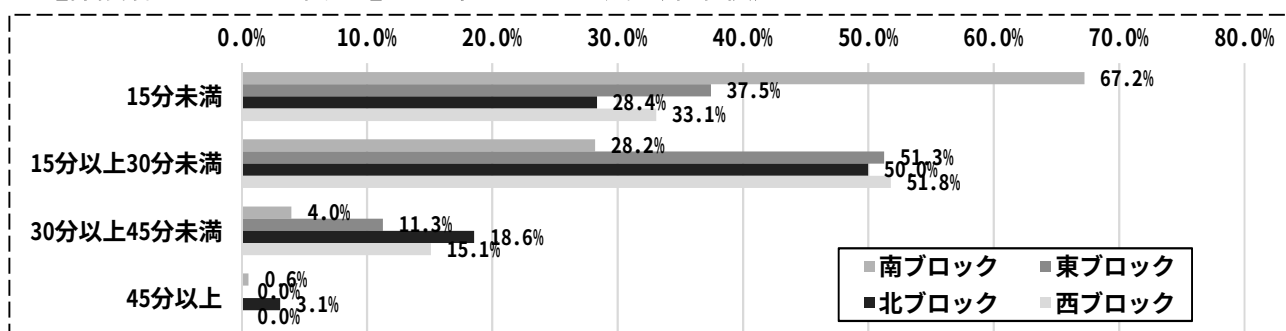
二 通学距離が、小学校にあつてはおおむね4キロメートル以内、中学校及び義務教育学校にあつてはおおむね6キロメートル以内であること。

(1) お子様の通学時間（片道）は？（1つ選択）

【保護者アンケート問 11】＜地区ブロック別（小学校）＞

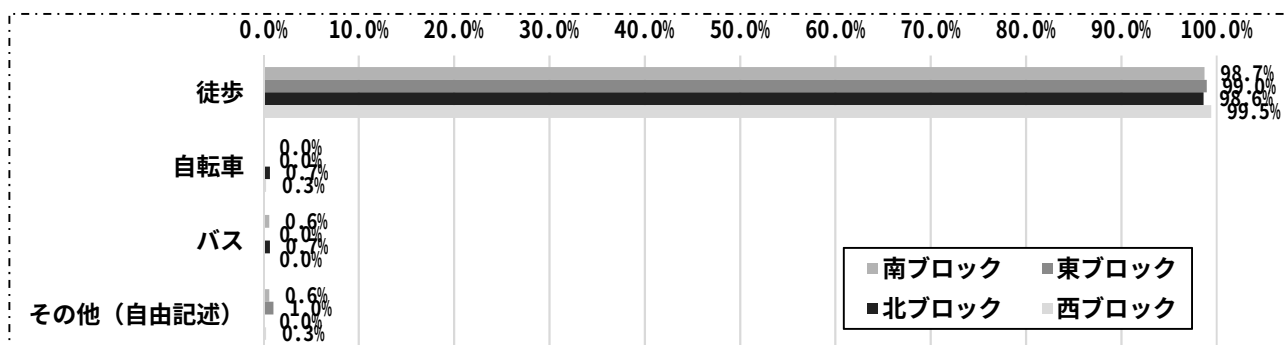


【保護者アンケート問 11】＜地区ブロック別（中学校）＞

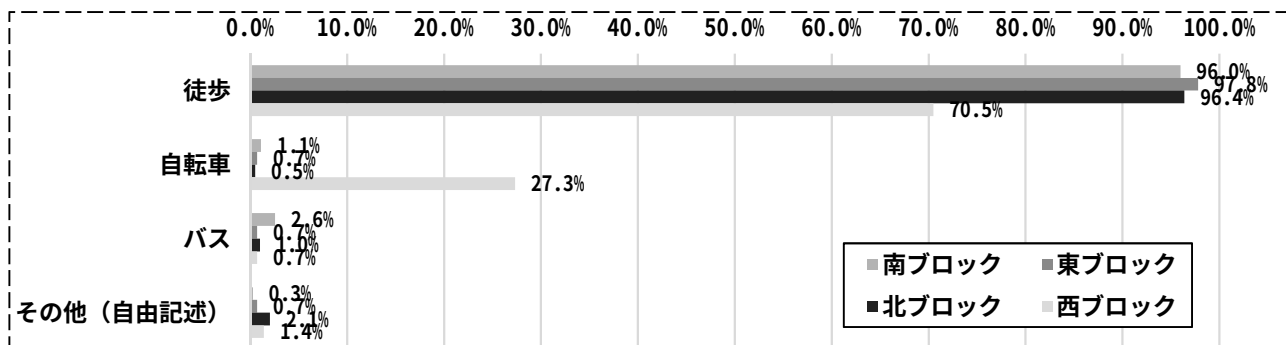


(2) お子様の通学手段は？（1つ選択）

【保護者アンケート問 12】＜地区ブロック別（小学校）＞

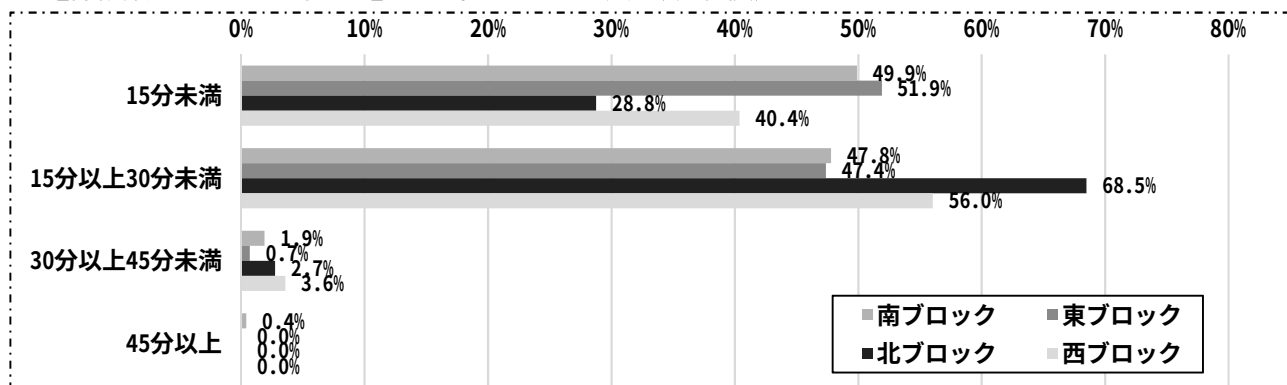


【保護者アンケート問 12】＜地区ブロック別（中学校）＞

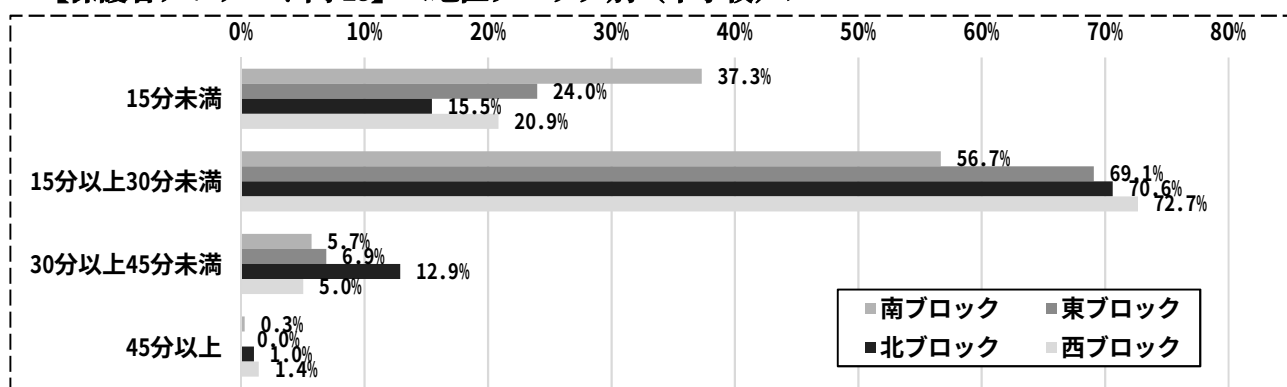


(3) 通学時間（片道）はどの程度まで可能か？（1つ選択）

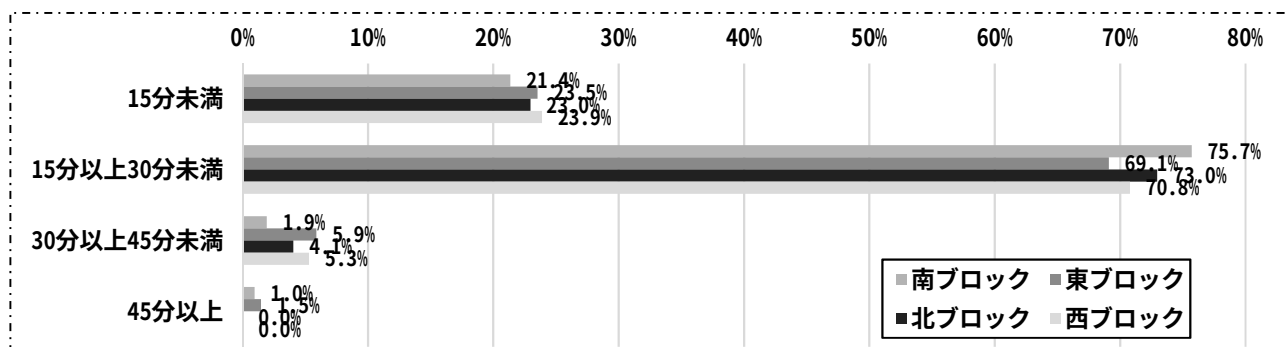
【保護者アンケート問13】＜地区ブロック別（小学校）＞



【保護者アンケート問13】＜地区ブロック別（中学校）＞



【教職員アンケート問5】＜地区ブロック別（小学校）＞



【教職員アンケート問5】＜地区ブロック別（中学校）＞

